

## <令和7年度報告書>

はじめに

今年度は、モルエでの市民フェスティバルの開催や年4回の定例会、年1回の伊達開催と久々の通常運営ができた1年となりました。事務局長の交代があったものの、つつがなく活動できたと思っておりました年度末、まさかの新事務局長の交代が。。。ただこのようなことで浮き足立つ在宅ケア連絡会ではもはやなく、磐石の運営委員と事務局、幹事のみなさんの協力により無事に新年度の運営体制を維持することができ、感謝しております。運営委員・幹事同士も顔の見える関係が構築され、良いチームワークで運営できている証なのだと、個人的に感銘を受けました。

また2026年2月のレビュー班の企画から、在宅ケアと障がい領域の連携をより強化する必要があるという気づきが生まれ、西胆振圏域地域生活支援拠点連絡協議会の代表の方にも新年度から持ち回りで幹事をやっていただけることになり、これも嬉しい展開でした。在宅ケアは職種横断的な関わりが不可欠で、多様な関係する専門職や団体に加入いただけることは当会の学びと交流の幅が広がり大変心強く思っております。

さて、当会の目的は以下の3点です。

- ・在宅ケアに関わる多職種や関係者と顔の見える関係をつくる
- ・在宅ケア推進にあたり、関係者・住民の知識の増進をはかり、相談できる場をつくる
- ・在宅ケアを広め、住民のニーズをくみ取る場をつくる

毎年同じことを思いますが、上記の目的を達成するためには、定例会や市民フェスティバルなど、人が集い、対話し、交流する場が求められます。つまり人が集まりたくなるような魅力ある定例会のテーマや企画が必要で、運営委員や幹事で知恵を出しながら、専門職や市民の皆さんのニーズに合ったコンテンツを引き続き考えていければと思っています。また新たな人材の発掘も運営委員内では議論しており、関係組織や後援団体にも積極的に声かけをしていこうと話をしております。

最後になりましたが、運営委員会メンバー・幹事・事務局の皆さん、そして何より当会の活動に参加いただいている皆さん、1年間どうもありがとうございました。次年度もまた楽しく集い、大いに盛り上がり、みんなで在宅ケアのネットワークを厚くしていきましょう。みなさんの在宅ケアで良い関わりをしたい、学びを深めたい、連携を強化したいなどの情熱が当会を維持・推進していくエネルギーです、どうぞよろしくお願い致します。

西いぶり在宅ケア連絡会 会長 佐藤弘太郎

| 月   | 形式(参加実績)                 | テーマ・内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月  | 講演+名刺交換<br>(78名) 対面開催 ※1 | <b>「名刺交換会」</b><br>新年度となり新しい出会いが増え、気持ちも新たに仕事に向かっている方が多い時期かと思います。新年度1回目の定例会は、恒例となりました『名刺交換会』を開催します。多くの関係者と一度に名刺交換ができる機会となっています。ご自身や皆さんのご所属先のアピールポイントを交えて挨拶ができるように工夫しています。また、今回は室蘭保健所の多職種勉強会との共催となっており、当連絡会の説明やミニ講話としてACP(アドバンスケアプランニング)についても取り上げます。皆さんの参加をお待ちしています。                                                                                                          |
| 8月  | 講演<br>(41名) 対面開催 ※2      | <b>「高齢者の消費者被害について」</b><br>みなさんの周りで、消費者被害にあってしまった方はいないでしょうか？テレビなどの報道で目にしたりする事はありませんが、どれだけ注意喚起しても騙されてしまい被害にあわれてしまう方がいるのが実態です。今回は、『消費者被害への気づきと対応』について、室蘭市消費生活センターの尾澤様に最近の消費者被害の実態について事例をもとに、消費者被害の早期発見のポイントや防止策や対応策について説明をして頂きます。講演後はグループワークもあるので、高齢者と接する機会が多い私達ができる事を確認したり、他職種連携や協力により、消費者被害を未然に防ぐことができる地域づくりのきっかけになれば良いと考えております。在宅に関わる職種だけではなく、施設や病院の職員の方にも是非参加して頂きたいと思います。 |
| 11月 | 講演<br>(49名) 対面開催 ※3      | <b>「法律職と連携する福祉事例」 ～【支援を拒む人】の事例から考える～</b><br>困難事例を基に、解決あるいは支援の方向性を法的側面のアドバイスを頂きながら進めていきます。現在、進行中の事例を通した研修会となっております。皆さまのご参加お待ちしております。今回はグループワークを実施する都合上、事前申し込み制とさせて頂いております。別紙、URL、QRコードより参加申込をお願いいたします。<br>今回は伊達市専門職研修会との共催となります、ぜひご参加ください。                                                                                                                                  |
| 1月  | 講演<br>(37名) 対面開催 ※4      | <b>「知って得する！薬剤師との連携で出来る事」</b><br>令和8年最初の定例会は、薬剤師との連携をテーマに開催します！<br>知っているようで意外と知られていない、薬剤師の一日の動きや、在宅訪問時にどのような支援を行っているのか、訪問看護師との役割の違いなどについて、わかりやすくお話しいたします。また、グループワークでは、各テーブルに薬剤師が参加予定！日頃の疑問を直接質問したり、意見交換を通して互いの視点をすることで、今後のよりよい連携に繋げていきましょう。ぜひご参加ください！                                                                                                                       |
| 2月  | 講演<br>(51名) 対面開催 ※5      | <b>「80・50問題に向き合う姿勢」</b><br>レビュー班が担当する定例会です。今回は「8050問題」を取り上げました。事例をもとに 対象者の支援だけではなく、家族全体を支援する視点について考えます。 家族は「ひとつの社会」とも言われております。その中で暮らしている対象者やご家族の価値観や思いを理解することは在宅支援において大切です。“困っている”と相談してくれる人は支援しやすいですが、“あまり関わらないで…”という人に対して皆さんはどうされていますか？福祉、障害、生活困窮の専門家によるミニ講義で幅広い知識を深め、明日からの在宅ケアに役立ちます！今年度最後の定例会です。ぜひご参加ください。                                                              |

※1 講師:西いぶり在宅ケア連絡会 会長 佐藤 弘太郎  
 ※2 講師:室蘭市消費者生活センター 尾崎 ともえ 様  
 ※3 講師:伊達噴火湾法律事務所 弁護士 林 正樹 様 伊達市多専門職勉強会との共催  
 ※4 講師:センター薬局 本輪西店 佐藤一生 先生  
       なの花薬局 母恋店 細川謙太 先生  
 ※5 講師:伊達市地域包括支援センター ケアマネジャー 古屋 様  
       登別市総合支援センターen 精神保健福祉士 北條 様

## 令和7年度 定例会 職種別 参加者数

※複数回答有のため誤差あり

| ラベル | 職種         | 5月 | 8月 | 11月 | 1月 | 3月 | 延べ  |
|-----|------------|----|----|-----|----|----|-----|
| 1   | ①. 医師      | 3  | 1  |     | 2  | 0  | 4   |
| 2   | ②. 歯科医師    | 1  | 0  |     | 0  | 0  | 1   |
| 3   | ③. 保健師     | 5  | 1  |     | 0  | 2  | 6   |
| 4   | ④. 看護師     | 13 | 4  |     | 6  | 8  | 17  |
| 5   | ⑤. ケアマネジャー | 7  | 2  |     | 4  | 8  | 9   |
| 6   | ⑥. 社会福祉士   | 3  | 5  |     | 1  | 5  | 8   |
| 7   | ⑦. 栄養士     | 4  | 1  |     | 3  | 1  | 5   |
| 8   | ⑧. PT      | 6  | 5  |     | 2  | 5  | 11  |
| 9   | ⑨. OT      | 1  | 1  |     | 1  | 1  | 2   |
| 10  | ⑩. ST      | 1  | 0  |     | 0  | 1  | 1   |
| 11  | ⑪. MSW     | 5  | 2  |     | 1  | 1  | 7   |
| 12  | ⑫. PSW     | 1  | 1  |     | 1  | 1  | 2   |
| 13  | ⑬. 薬剤師     | 15 | 14 |     | 14 | 14 | 29  |
| 14  | ⑭. 歯科衛生士   | 1  | 0  |     | 1  | 0  | 1   |
| 15  | ⑮. 介護福祉士   | 4  | 0  |     | 0  | 0  | 4   |
| 16  | ⑯. ヘルパー    | 0  | 0  |     | 0  | 0  | 0   |
| 17  | ⑰. 生活相談員   | 5  | 0  |     | 0  | 0  | 5   |
| 18  | ⑱. 柔道整復師   | 0  | 0  |     | 0  | 0  | 0   |
| 19  | ⑲. 福祉用具    | 0  | 0  |     | 0  | 0  | 0   |
| 20  | ⑳. 医事関係者   | 0  | 0  |     | 0  | 0  | 0   |
| 21  | ㉑. その他( )  | 3  | 4  |     | 1  | 4  | 7   |
| 合計  |            | 78 | 41 | 49  | 37 | 51 | 256 |

※10月開催のフェスティバルは除外

※11月は職種詳細不明

5月:名刺交換会

8月:高齢者の消費者被害

11月:「法律職と連携する福祉事例」

～【支援を拒む人】の事例から考える～(伊達開催)

1月:「知って得する! 薬剤師との連携で出来る事」

3月:「80・50問題に向き合う姿勢」

# 第86回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会 令和7年度室蘭保健所多職種合同研修会 「名刺交換会」

テーマ

日時 : 5月12日(月) 18:30~20:00

会場 : むろらん広域センタービル 3階AB会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号

参加申込 : 参加申込不要 **当日参加OK!**

参加費 : 無料 別紙「自己紹介シート」を記入の上ご持参ください。



## <内 容>

18:30~18:35 開会挨拶(室蘭保健所企画総務課総務課長 伊勢 様)

18:35~18:50 西いぶり在宅ケア連絡会について

ACPIについて 会長 佐藤弘太郎

18:50~19:05 名刺交換会 1回目(15分)

19:05~19:20 名刺交換会 2回目(15分)

19:20~19:35 名刺交換会 3回目(15分)

19:35~19:50 名刺交換会 フリータイム(15分)

19:50~20:00 振り返り 次回予定 閉会



## 今月のポイント!

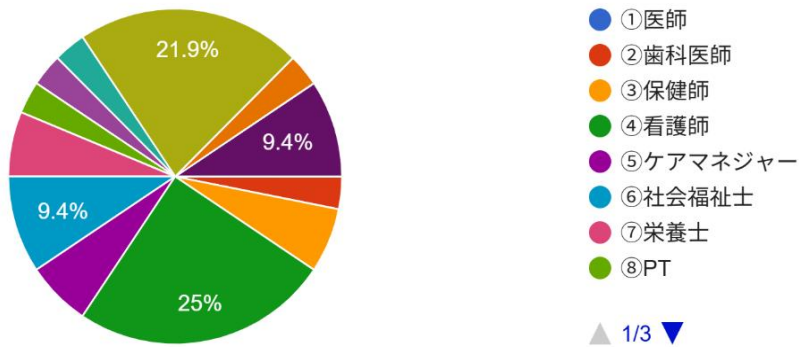
新年度となり新しい出会いが増え、気持ちも新たに仕事に向かっている方が多い時期かと思います。新年度1回目の定例会は、恒例となりました『名刺交換会』を開催します。多くの関係者と一度に名刺交換ができる機会となっています。ご自身や皆様のご所属先のアピールポイントを交えて挨拶ができるように工夫しています。また、今回は室蘭保健所の多職種勉強会との共催となっており、当連絡会の説明やミニ講話としてACP(アドバンスケアプランニング)についても取り上げます。皆さんの参加をお待ちしています。

### 【後援団体】 共催:室蘭保健所

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会(室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部

職種を教えてください。

32 件の回答



|        |    |
|--------|----|
| ④看護師   | 8  |
| ⑬薬剤師   | 7  |
| ⑥社会福祉士 | 2  |
| その他    | 15 |
|        | 32 |

※アンケート回答者 32名  
定例会参加者 78名

今回の研修会をどのように知りましたか？

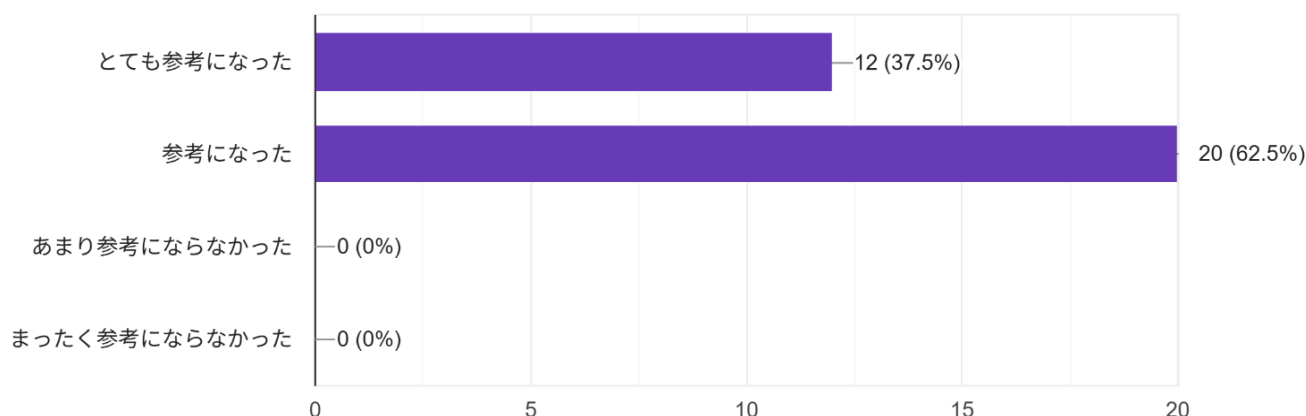
32 件の回答



|               |    |
|---------------|----|
| ①病院施設事業所のポスター | 2  |
| ②知人・友人        | 2  |
| ③職場           | 18 |
| ④職能団体からの連絡    | 8  |
| ⑤その他          | 2  |

## 「連絡会の説明」「ACP」について

32 件の回答



|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 12 |
| ②参考になった        | 20 |
| ③あまり参考にならなかった  | 0  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

## 「連絡会の説明、ACPについて」の感想(自由記載)

- ・わかりやすかった
- ・介護の現場で、早急な対応が必要な事例がたくさんあると思いますが、他業種との繋がりを密にして行くことが大切だとあらためて感じました。このような機会を設けて下さりありがとうございました。
- ・自分や自分の職場内だけで理解しておくものではなく、地域の支援者が支援の価値観や感覚を上げていくことが必要なんだと思いました。ACPについても、日本版ACPが必要だという意味もとてもよく分かりました。日本人って奥ゆかしいところがありますよね。ありがとうございます。
- ・参加は始めてでしたが、地域の在宅療養を支えていくために、今後も参加し繋げていきたいです
- ・日本の文化を考慮した本人支援のあり方についてお話していただき、納得しました。自分の事より、家族に迷惑をかけたくないと思う方の本当の気持ちに寄り添った支援の実現を心がけたいと思いました。
- ・業務中の電話がかかってきたので、聞けませんでした。
- ・とても良かったです
- ・ACPの普及と支援には、医療・ケアに携わる様々な職種が積極的に関わり支援していくことが重要であると感じました。
- ・連絡会の目的など理解できた。「ACP」については本人がしっかりしているうちに自分の将来、生き方など決めておく事は家族にとっても迷わずにすむ事もあり良いと思いました
- ・始めてACPを知り勉強になりました
- ・ACPの日本版がある事を初めて知る事が出来ました。新たな知識を得ることが出来ました。

- ・本人の意思を何度も考えを変えていいと言うのは良いと思いました。生活する中で変わる事はよくある事だと思いました。
- ・短時間ではあったがポイントは理解できた
- ・参考になりました。
- ・多職種連携の重要さ、そしてその為の交流会の必要性を強く感じました。
- ・日本版ができている事に実用性を感じた
- ・ACPについて、理解を深められた。
- ・勉強不足で初めて聞く言葉でした。障害福祉の意思決定支援をイメージしながら聞いていました。
- ・連絡会についてよく知らなかったため、地域で他職種との関係づくりをしていることが知れて良かったです。ACPでは将来の心づもりに関する記録を作成ということが1番印象に残りました。
- ・もしバナゲームを使って、薬局でもACPの研修を行っています
- ・ACPについて、「自律的な意思決定を励まし、支援する」という点が現在出来ておらず、利用者さんに「どうしたいですか？」ばかり聞いていたように思いました。もっと私も良い声かけができれば良いなと思いました。
- ・ACP？人生会議？将来の心づもりの言い換えがわかりやすいと思った。
- ・普段から、自身の過ごし方について家族と話せる機会をつくっていくことが大切と感じました。
- ・初めて参加させていただきましたが、特に連絡会とは？と、役割など知る事が出来ました。

#### 「名刺交換会」の感想(自由記載)

- ・盛り上がってよかった
- ・日頃、なかなか交流の機会のない業種の方ともお話しでき、良い機会となりました。
- ・とても熱気があり白熱しました。一堂に集まれる機会はやはりいいものだと感じました。ケアマネさんがもう少し多く集まればさらにありがたいなと感じました。
- ・なんだか、慌ただしく終わったなあと 名刺は沢山頂きましたが、顔は覚えているかは不安が残ります
- ・住民さんだけではなく、家族もお世話になっていたのも、いろんな方と名刺交換を通してご挨拶ができ、大変有り難かったです。ありがとうございました。
- ・普段薬局にいると関わらないような職種の方々とお話しできて良かったです。
- ・また出たいです。
- ・昨年も参加させていただきましたが、年に1回このような名刺交換できる場があるのは職種を越えて連携を強められるいい機会だと感じました。
- ・たくさんのお仕事の方と話しが出来たし繋がりが出来れば良いと思いました
- ・始めて参加させていただいてとても貴重な時間でした。
- ・普段知り合う事の無い、職種の方とも出会う事ができてとても有意義な機会となりました。
- ・どこにどう報告したら良いかなどよくわからなかったのも、他職種の方のお仕事内容について聞けて良かったです。
- ・初めて参加した、今後の連携に活用していきたい
- ・とてもよい企画であると思います。
- ・昨年も参加しました。昨年以上に大勢の方とお知り合いになれました。ありがとうございます。

- ・顔の見える関係として重要と思う
- ・普段関わりの少ない方とも情報交換ができた。
- ・色々な職種の方とお話しできて有意義でした
- ・毎年参加しているが、改めて顔の見える関係づくりとしてとても良いと思った。今後も連携しやすいと思う
- ・沢山の方と名刺交換が出来て、とても良い機会になりました。
- ・多くの方と交流でき、地域で貢献できることの共有や他施設での業務内容など知れて今後の活動に繋がっていただけたと思います。
- ・とても大切な時間と感じます。この場を作って頂いた皆様に感謝。次回以降も参加したい。
- ・来年も参加します
- ・とても沢山の方と交流を持つことができ、本当に大切な機会になりました。
- ・初参加でした。久しぶりの人ごみでした。良い時間になりました。
- ・色々な職種の方と顔を合わせられ、懐かしい方に再会もできて良かったです。
- ・大半の方が初めましてでしたが、緊張のあまり多くの方とご挨拶出来ず次回参加させていただいた際には、今回よりも多く顔見知りになりたいと思います。

- ・全体を通じて感想などあればご記入ください

- ・また参加したい
- ・またよろしくお願いします。
- ・参加することの意味を感じました
- ・このような会を開催していただき、ありがとうございます。記憶力が低下してきているので、名前と顔を瞬時に覚えられず苦労しましたが、今後の仕事にいかされと思います。
- ・今後も参加します。
- ・進行もスムーズでわかりやすく有意義な時間でした
- ・とても貴重な時間をありがとうございました これからも繋がりを大事にしていきたいと思います。
- ・いつも緊張して参加しますが出席すると勉強になります。こういった機会があって助かります。
- ・是非また開催して頂きたいです。
- ・時間がタイトなのでACPは別立てで研修を実施するとよかったのでは
- ・会場が熱くて、人に酔いました。
- ・初めて参加させて頂きましたが、とても雰囲気良く、みなさんとの名刺交換やお話が勉強になりました。また是非参加させて頂きたいと思います。
- ・グループを分けての名刺交換という仕方がとてもやりやすく良かったです。このような機会を設けていただきありがとうございました。
- ・またお世話になりたいと思っております。
- ・初めての参加でしたが、とても良い経験が出来ました。本当にありがとうございました。

西いぶり在宅ケア連絡会 定例会 報告書

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 86 回<br>テーマ           | 名刺交換会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 目 的                     | <p>新年度となり、就職や職場の異動もある時期であり、西胆振地区の在宅支援関係者との顔が見える関係性を作るきっかけとなるように、また、連携を深く強くする事を目的に当会の恒例イベントとして企画、開催をした。</p> <p>※今回は室蘭保健所多職種合同研修会との共催イベントとして開催。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 開催日時                    | 令和7年5月12日(月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 会 場                     | むろらん広域センタービル3階AB会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| タイムライン                  | <p>18:30～18:35 開会挨拶(室蘭保健所企画総務課 坂本 様)</p> <p>18:35～18:50 西いぶり在宅ケア連絡会について<br/>ACPについて(会長：佐藤弘太郎)</p> <p>18:50～19:05 名刺交換会1回目(15分)</p> <p>19:05～19:20 名刺交換会2回目(15分)</p> <p>19:20～19:35 名刺交換会3回目(15分)</p> <p>19:35～19:50 名刺交換会4回目、フリータイム(15分)</p> <p>19:50～20:00 振り返り、次回予定、閉会</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 参加者の声<br>※アンケート<br>より抜粋 | <p>【西いぶり在宅ケア連絡会、ACPについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の現場で、早急な対応が必要な事例がたくさんあると思いますが、他業種との繋がりを密にして行くことが大切だとあらためて感じました。</li> <li>・地域の支援者が支援の価値観や感覚を上げていくことが必要なんだと思いました。日本版ACPが必要だという意味もとてもよく分かりました。</li> <li>・日本の文化を考慮した本人支援のあり方についてお話していただき、納得しました。自分の事より、家族に迷惑をかけたくないと思う方の本当の気持ちに寄り添った支援の実現を心がけたいと思いました。</li> <li>・ACPの普及と支援には、医療・ケアに携わる様々な職種が積極的に関わり支援していくことが重要であると感じました。</li> </ul> <p>【名刺交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱気があり白熱しました。一堂に集まれる機会はやはりいいものだと感じました。ケアマネさんがもう少し多く集まればさらにありがたいなと感じました。</li> <li>・普段薬局にいと関わらないような職種の方々とお話しできて良かった。</li> <li>・年に1回このような名刺交換できる場があるのは職種を越えて連携を強められるいい機会だと感じました。</li> <li>・普段知り合う事の無い、職種の方とも出会う事ができてとても有意義な機会となりました。</li> <li>・昨年以上に大勢の方とお知り合いになれました。ありがとうございます</li> </ul> |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>参加者の声<br/>※アンケート<br/>より抜粋</p> | <p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も参加します。</li> <li>・進行もスムーズでわかりやすく有意義な時間でした</li> <li>・とても貴重な時間をありがとうございましたこれからも繋がりを大事にしていきたいと思います。</li> <li>・いつも緊張して参加しますが出席すると勉強になります。こういった機会があって助かります。</li> <li>・是非また開催して頂きたいです。</li> <li>・時間がタイトなのでACPは別立てで研修を実施するとよかったのでは</li> <li>・会場が熱くて、人に酔いました。</li> <li>・初めて参加させて頂きましたが、とても雰囲気良く、みなさんとの名刺交換やお話が勉強になりました。また是非参加させて頂きたいと思います。</li> <li>・グループを分けての名刺交換という仕方がとてもやりやすくてよかったです。このような機会を設けていただきありがとうございました。</li> <li>・またお世話になりたいと思っております。</li> <li>・初めての参加でしたが、とても良い経験が出来ました。本当にありがとうございました</li> </ul> |
| <p>報告者からの<br/>まとめ</p>            | <p>・当日は80名以上(室蘭保健所職員含む)の参加で昨年よりも多くの関係者が集まり、各自名刺交換や近況報告、情報共有などが活発になされていたと感じた。また、終始会場の中の声が途切れる事も無く、最後まで活発な交流もはかれたのではないかと感じている。</p> <p>反省点として、会場の温度調整に配慮が必要だった事(暑く感じたので)。会場によっては難しい場合もあるかと思うが、今回のような会場の場合には、適宜調整をする事で参加者の負担も軽減できると感じた。</p> <p>アンケートのコメントからは『また参加をしたい』『多職種と交流ができて良かった』など肯定的な内容が多いことから、今後も継続できるように企画・運営をしていきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                   |

# 第87回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

## テーマ 「高齢者の消費者被害について」

日 時 : 8月18日(月) 18:30~20:00

会 場 : 胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」

室蘭市東町4丁目29番1号 大研修室AB



西いぶり在宅ケア連絡会

参加申込 : 参加申込不要 **当日参加OK!**

参加費 : 500円

### <内 容>

18:30~18:35 開会挨拶、講師紹介

18:35~19:05 講演『高齢者の消費者被害への気づきと対応を考える』

講師: 室蘭市消費者生活センター 尾澤ともえ 様

19:05~19:35 グループワーク

19:35~19:55 グループ発表、全体共有

19:55~20:00 連絡事項 閉会



## 今月のポイント!

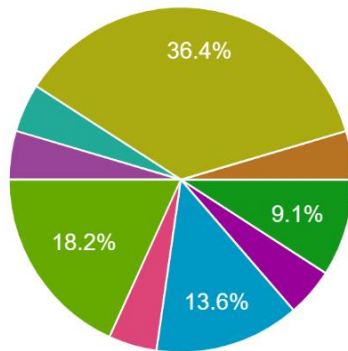
みなさんの周りで、消費者被害にあってしまった方はいないでしょうか? テレビなどの報道で目にしたりする事がありますが、どれだけ注意喚起しても騙されてしまい被害にあわれてしまう方がいるのが実態です。今回は、『消費者被害への気づきと対応』について、室蘭市消費生活センターの尾澤様に最近の消費者被害の実態について事例をもとに、消費者被害の早期発見のポイントや防止策や対応策について説明をして頂きます。講演後はグループワークもあるので、高齢者と接する機会が多い私達ができる事を確認したり、他職種連携や協力により、消費者被害を未然に防ぐことができる地域づくりのきっかけになれば良いと考えております。在宅に関わる職種だけではなく、施設や病院の職員の方にも是非参加して頂きたいと思っております。

### 【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

## 職種を教えてください。

22 件の回答



- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

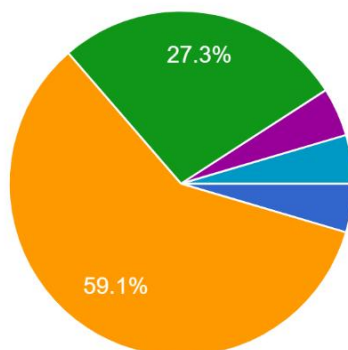
|        |    |
|--------|----|
| ⑬薬剤師   | 8  |
| ⑧PT    | 4  |
| ⑥社会福祉士 | 3  |
| その他    | 7  |
|        | 22 |

※アンケート回答者 22名

定例会参加者 41名

## 今回の研修会をどのように知りましたか？

22 件の回答

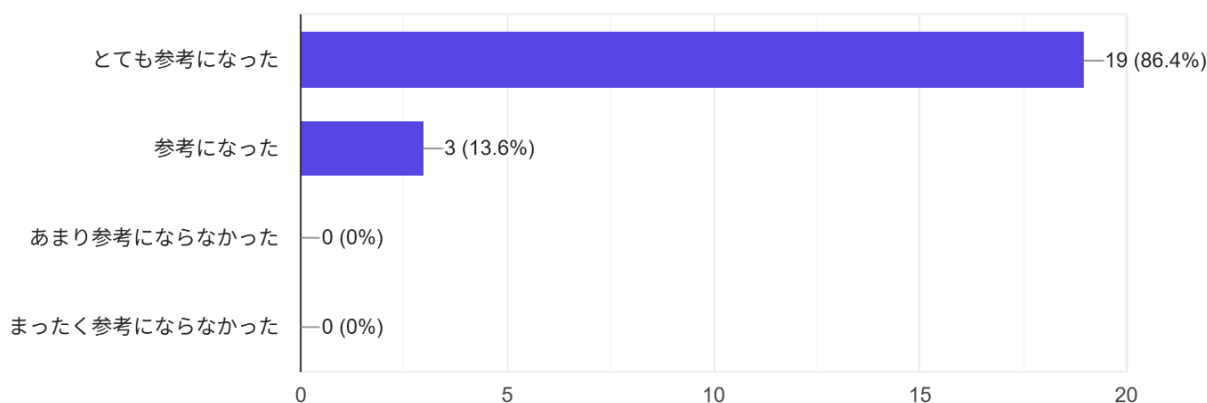


- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤幹事
- ⑥ホームページ

|               |    |
|---------------|----|
| ①病院施設事業所のポスター | 1  |
| ②知人・友人        | 0  |
| ③職場           | 13 |
| ④職能団体からの連絡    | 6  |
| ⑤その他          | 2  |

# 「高齢者の消費者被害への気づきと対応を考える」講演について

22 件の回答



|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 19 |
| ②参考になった        | 3  |
| ③あまり参考にならなかった  | 0  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

## 「高齢者の消費者被害への気づきと対応を考える」講演の感想(自由記載)

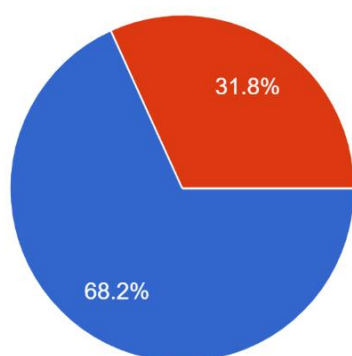
- ・こんなにも身近で詐欺的なことがある事をしり驚き、他人事ではないと思いました。判断力が低下したり、強引な手法でお困りになる方を察知できる様注意を促したりする必要があると思いました。
- ・いろいろな事例を聞けて参考になりました。
- ・70代の相談件数が突出して多い理由が興味深かった。今後は、ネット検索やAIの利用で自己完結してしまう人が増えてくると思われる。日頃の関わりが大事だと感じた。
- ・最近の消費者被害が、どんな物があるのか、改めてわかった。在宅の仕事をしているので、患者さんが被害にあいそうになったり、困っている場面に遭遇するかもしれないことを考え、気づいて対応することが大切だと思った。
- ・これまで知らなかったようなトラブル内容もあり、とても勉強になりました
- ・消費者被害の対応は知識がなく、とても参考になりました。
- ・消費者被害の実例があっても、センターに相談するという方法を思いつかなかったので、参考になりました
- ・もっと事例の紹介が聞きたかったです
- ・高齢者と関わる仕事をする上で、講演の内容を理解することはとても大切で勉強になりました。
- ・初めて高齢者はの詐欺行為を間近に感じました。私も他人事、遠い出来事と思っていたことに気づくいい機会になりました。大変ためになる講演を聞けて良かったです。
- ・わかりやすい説明だったので、消費生活センターを身近に感じられました
- ・同じ北海道でも詐欺被害の多い少ないがあって、他人事ではないのだなと思いました。
- ・消費生活センターの仕事をしっかりと知ることができました

- ・ 支援者が消費者被害の実態を知っておくことが大切だと思いました。
- ・ 意外に身近に存在することが知れて改めて驚きと気づきの大切さを理解することができました。
- ・ 日々の関わりから変化を感じて、それを他職種で共有することが大切だと思った。
- ・ 詐欺がこんなにあると思わなかった

「グループワーク」について

「グループワーク」について

22 件の回答



- とても参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- まったく参考にならなかった

|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 15 |
| ②参考になった        | 7  |
| ③あまり参考にならなかった  | 0  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

## 「グループワーク」の感想(自由記載)

- ・皆んな多かれ少なかれ押し売りだったり訪問販売を経験されている方がいました。対処法など聞けて是非参考にしたいと思いました。
- ・他職種の方と意見交換できてとても参考になりました。
- ・相談者のちょっとした変化、言葉で表されることと、うちに秘めてしまっていることなどに気づける視点を常に持つことが大事。また、職場などで情報共有することで、新たな視点や解決策が出てくる可能性がある。職種を問わず、連携することの大切さを重視する意見が多くあった。
- ・他職種の方の実際の経験から、在宅ケアの時の気づきや、誰に繋ぐかという対応の大事さを考えることができた。
- ・初めての参加でしたが、スムーズにワークが進みました。具体的な事例を聴いて、困っている人の空気感をリアルに感じることができました
- ・様々な事例の紹介、その対応についての学びがとても多かった。
- ・多職種で話し合えて良かった
- ・和やかな雰囲気を楽しめました。
- ・いろいろな職種の方と話すことができて良かったです。
- ・訪問に関わる職種の方が、関わる事が多いこと、違和感や、ちょっとした気づきの大事さを感じました。

- ・訪問系に従事していられる方の観察力や対応で被害を未然に防ぐ事が出来る、相談に乗る事で被害を最小限に抑える事が出来ると思いました。
- ・色々な場所で活躍される医療者の話を聞けて楽しかったです。
- ・色々な経験を共有することができました
- ・事例を通して身近にある被害を理解できました。とても良かったです。
- ・他職種の消費者被害ケースの関わりは、勉強になった。
- ・参考になった

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・消費者センターへの相談へのハードルが下がった気がしました。人に相談するって改めて大事だと感じました。
- ・また機会ありましたら、参加させていただきたいです。
- ・初めての参加で、グループワークの役割は全て他の人にお任せしてしまった。司会の方、発表の方、記録の方、みなさん短時間でうまくまとめて下さいました。とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・消費生活センターに具体的にどのようなことを相談できるのか知ることができました。大変勉強になりました
- ・今回の企画もとても有意義な時間でした。良く聞かれる問題を改めて考える機会となりました。
- ・また機会があれば出席したいです。

- ・ 室蘭の消費生活センターに担当者が3名いて、年間400件近い相談がある事に驚きました。相談しないで、被害にあっている人が市内で、相当数いるのではないかと感じました。多職種連携で、消費者被害を少しでも、減少出来れば良いと思います。
- ・ とても良かったです
- ・ 知識と関心を持つ事が大事なんだなと思いました
- ・ 参加して良かったです！ありがとうございました！
- ・ コンパクトにまとまりがありとても充実した時間だったと感じています。講師の尾澤さんの仕切りがとても素晴らしかったです。それも含めて勉強になりました。ありがとうございました！
- ・ ためになった

西いぶり在宅ケア連絡会 定例会 報告書

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 87 回<br>テーマ           | 高齢者の消費者被害への気づきと対応を考える                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 目 的                     | 室蘭市の消費者被害の現状や手口、具体的な事例から消費者被害の早期発見のポイントや防止策と対応策を学び、グループワークを通じて、高齢者を消費者被害から守るための気づきや他職種連携について考える。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 開催日時                    | 令和7年8月18日(月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 会 場                     | 胆振地方男女平等参画センター『ミンクール』大研修室A・B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| タイムライン                  | <p>18：30～18：35 開会挨拶、講師紹介</p> <p>18：35～19：05 講演『高齢者の消費者被害への気づきと対応を考える』<br/>講師：室蘭市消費生活センター 尾澤 ともえ 様</p> <p>19：05～19：35 グループワーク</p> <p>19：35～19：55 グループ発表、全体共有</p> <p>19：55～20：00 連絡事項、閉会</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 参加者の声<br>※アンケート<br>より抜粋 | <p>【講演の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなにも身近で詐欺的なことがあることを知って驚き、他人事ではないと思いました。判断力が低下したり、強引な手法でお困りになる方を察知できるよう注意を促したりする必要があると思いました。</li> <li>・70代の相談件数が突出して多い理由が興味深かった。今後はネット検索やAIの利用で自己完結する人が増えてくると思う。日頃の関りが大事だと感じた。</li> <li>・消費者被害の実例があっても、消費生活センターに相談するという方法を思いつかなかったのが、参考になりました。</li> <li>・これまで知らなかったようなトラブル内容もあり、とても勉強になりました。</li> </ul> <p>【グループワークの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者のちょっとした変化、言葉で表されることと、内に秘めてしまっていることなどに気付ける視点を常に持つことが大事。また、職場などで情報共有することで、新たな視点や解決策が出てくる可能性がある。職種を問わず、連携することの大切さを重視する意見が多くあった。</li> <li>・多職種の方の実際の経験から、在宅ケアの時の気づきや誰につなぐかという対応の大事さを考えることができた。</li> <li>・初めての参加でしたが、スムーズにグループワークが進みました。具体的な事例を聞いて、困っている人の空気感をリアルに感じる事ができました。</li> </ul> |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>参加者の声<br/>※アンケート<br/>より抜粋</p> | <p>【全体を通じての感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活センターへの相談ハードルが下がった気がしました。人に相談するって改めて大事だと感じました。</li> <li>・消費生活センターに具体的にどのようなことを相談できるのか知ることができました。大変勉強になりました。</li> <li>・今回の企画もとても有意義な時間でした。よく聞かれる問題を改めて考える機会となりました。</li> <li>・室蘭の消費生活センターに担当者が3名いて、年間400件近い相談があることに驚きました。相談しないで、被害に遭っている人が市内で相当いるのではないかと感じました。他職種連携で、消費者被害が少しでも減少できればと良いと思います。</li> <li>・参加して良かったです！ありがとうございました！</li> <li>・コンパクトにまとまりがあり、とても充実した時間だったと感じています。講師の尾澤さんの仕切りがとても素晴らしかったです。それも含めて勉強になりました。ありがとうございました！</li> </ul> |
| <p>報告者からの<br/>まとめ</p>            | <p>室蘭消費生活センターの尾澤さんの話から、高齢者が時間的余裕があることや判断力低下などから消費者被害に遭いやすい状況にあることを改めて理解することができた。そのため、在宅分野の医療や福祉に関わる私たち専門職は、高齢者が消費者被害に遭っているサインに気づく立場でいなければいけないと感じた。今回のグループワークを通じて、働く部門はそれぞれ違うが、皆それぞれに消費者被害に遭った方と関わった経験があることが分かった。なるべく早くに異変に気づいて、早期対応することで、消費者被害の深刻化を防ぎ、高齢者自身が学びから、消費者被害に遭わないための術を習得できると感じた。高齢者が消費者被害に遭わない地域の実現に近づけるように、気付きの目を養って、日々の業務に生かしていきたい。</p>                                                                                                                                                      |

# 第88回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会 伊達市専門職研修会

テーマ 「法律職と連携する福祉事例」  
～【支援を拒む人】の事例から考える～



日時 : 11月20日(木) 18:30～20:00(受付:18:00)

会場 : 伊達市市民活動センター

伊達市鹿島町20番地1(伊達市役所となり)

参加費 : 無料

参加申込 : URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、  
申し込み。(別紙参照)申込締め切り: **11月14日(金)まで**

## <内 容>

18:30～18:35 開会

18:35～19:45 講義+グループワーク

講師: 伊達噴火湾法律事務所

弁護士 林 正樹 先生

19:45～20:00 発表+質疑応答

20:00 閉会

## 今月のポイント！伊達市専門職研修会との共催！

困難事例を基に、解決あるいは支援の方向性を法的側面のアドバイスを頂きながら進めていきます。現在、進行中の事例を通した研修会となっております。皆さまのご参加お待ちしております。今回はグループワークを実施する都合上、事前申し込み制とさせていただきます。別紙、URL、QRコードより参加申込をお願いいたします。今回は伊達市専門職研修会との共催となります、ぜひご参加ください。

### 【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道社会福祉士会日胆支部

## 第 88 回 定例会「法律職と連携する福祉事例」

【担当幹事】 古屋 英一郎

### 【今回の目的】

医療・介護連携に関わる専門職の皆様を対象とした研修会、困難事例をもとに、解決あるいは支援の方向性を法的側面のアドバイスをいただきながら進めます。

### 【タイムライン】

令和 7 年 11 月 20 日（木）

18:30～18:35 開会あいさつ（伊達市在宅医療介護連携推薦センター沼田氏）

18:35～19:45 講義、グループワーク

講師：伊達噴火湾法律事務所

弁護士 林 正樹 先生

19:45～20:00 発表 質疑応答

20:00 閉会

### 【研修内容】

今回の研修会は、西いぶり在宅ケア連絡会との共催とし「（福祉的支援では限界があり）法律専門職との連携が必要なケース」かつ「支援を拒む人」の具体的事例を扱った。

対象者は伊達市地域包括支援センターの総合相談で対応中のケースであり、初期集中支援チームの介入もしているが、本人に会えなかったり、会えたとしても疎ましがられてしまい関係性が作れない。

経済状況については多額の借金があり光熱費を滞納、家賃の支払いも滞りがちでいつ退去させられてもおかしくない状態。ライフラインが切れているが危機感を感じておらず支援を拒否している。事例説明後 10 グループに分かれて根外の事例についてどのように支援すべきか、事例を通して感じたことなどを話し合い発表していただいた。

講師の林弁護士よりアドバイスがあり、事前に受け付けていた質問については文書を作成していただき詳しい回答があった。また今回の研修を機会として専門職の皆様とつながり相談しやすい関係ができることは良いことであると閉められた。

### 【参加者】

伊達市在宅医療介護連携 西いぶり在宅ケア連絡会 合計 49 名

# 第89回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ「知って得する！薬剤師との連携で出来る事」

日 時 : 1月19日(月) 18:30~20:00

会 場 : 胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」

室蘭市東町4丁目29番1号 大研修室AB



参加申込 : 参加申込不要 **当日参加OK!**

参加費 : 500円

## <内 容>

18:30~18:35 開会挨拶、講師紹介

18:35~18:50 ミニレクチャー①

『薬剤師って何してるの?~思ってたんと違う薬剤師の現場~』

講師:センター薬局 本輪西店 佐藤一生 先生

18:50~19:05 ミニレクチャー②『事例紹介』

講師:なの花薬局 母恋店 細川謙太 先生

19:05~19:35 グループワーク

19:35~19:55 グループ発表、全体共有

19:55~20:00 連絡事項 閉会



## 今月のポイント!

令和8年最初の定例会は、薬剤師との連携をテーマに開催します!

知っているようで意外と知られていない、薬剤師の一日の動きや、在宅訪問時にどのような支援を行っているのか、訪問看護師との役割の違いなどについて、わかりやすくお話しいたします。

また、グループワークでは、各テーブルに薬剤師が参加予定!

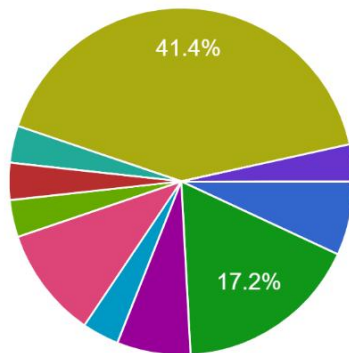
日頃の疑問を直接質問したり、意見交換を通して互いの視点を知ること、今後のよりよい連携に繋げていきましょう。ぜひご参加ください!

### 【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

## 職種を教えてください。

29 件の回答



- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

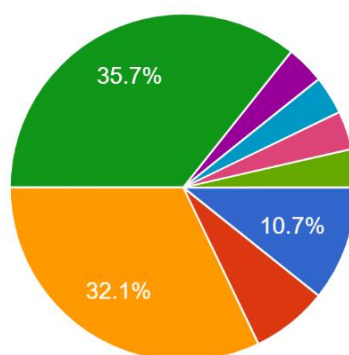
|      |    |
|------|----|
| ⑬薬剤師 | 12 |
| ④看護師 | 5  |
| ⑦栄養士 | 3  |
| その他  | 9  |
|      | 29 |

※アンケート回答者 29名

定例会参加者 37名

## 今回の研修会をどのように知りましたか？

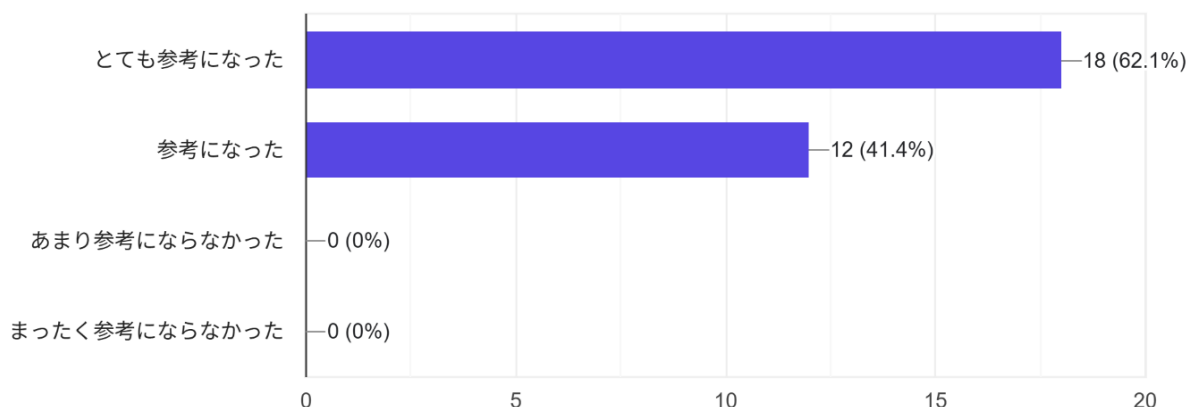
28 件の回答



- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤連絡会幹事です
- ⑥幹事
- ⑦ホームページ

|               |    |
|---------------|----|
| ①病院施設事業所のポスター | 3  |
| ②知人・友人        | 2  |
| ③職場           | 9  |
| ④職能団体からの連絡    | 10 |
| ⑤その他          | 6  |

ミニレクチャー①「薬剤師ってなにしてるの？～思ってたんと違う薬剤師の現場～」について  
29 件の回答



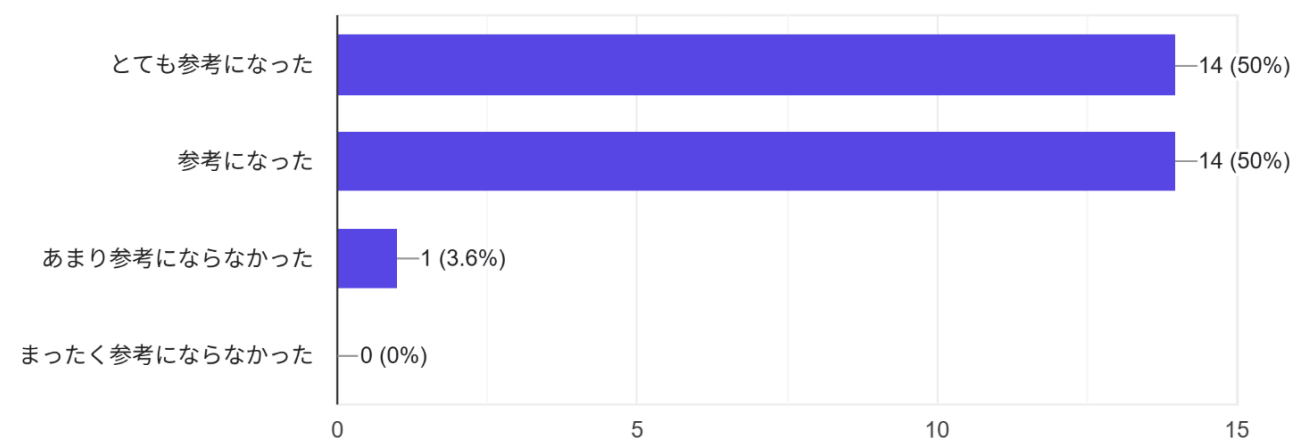
|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 18 |
| ②参考になった        | 12 |
| ③あまり参考にならなかった  | 0  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

ミニレクチャー①「薬剤師ってなにしてるの？～思ってたんと違う薬剤師の現場～」の感想(自由記載)

- ・とても参考になりました。どのような方が訪問薬剤師さんをお願いできるのかを理解することができました。
- ・訪問薬剤師さんの役割について改めて知ることができました。薬剤を飲んでの副反応の可能性などを含めて観察が必要と学ぶ事ができました。
- ・薬剤師さんの実際の仕事を知る機会がなかったので勉強になりました
- ・薬剤師の現場についてわかりやすく説明していただきました。
- ・訪問薬剤師の訪問での患者さんへの関わり方参考になりました。
- ・訪問管理がもっと広がれば良いと思いました
- ・気になっていた交通費のお話が聞けて参考になりました。また4つの視点のお話では、歯科衛生士でも口腔だけではなく同じくこの4つの視点を見ながら関わるのが大事だなと感じました。
- ・薬剤師の在宅への参加が増えていくと思いました。他職種から協力の声が増えると嬉しいです。
- ・在宅訪問で薬剤師が行なっていることを知れて勉強になりました。
- ・薬剤師さんの視点の広さに驚きました。 フィジカルアセスメントもしながら関わるのはとても素晴らしいことです。
- ・どのような業務、役割を担ってるのかよくわかった
- ・大変参考になりました
- ・訪問薬剤師の業務についてイメージがわからなかったが、今回の研修を通して訪問薬剤師の必要性が理解できた。

ミニレクチャー②「事例紹介 うまくいった事例、うまくいかなかった事例」 について

ミニレクチャー②「事例紹介 うまくいった事例、うまくいかなかった事例」 について  
28 件の回答



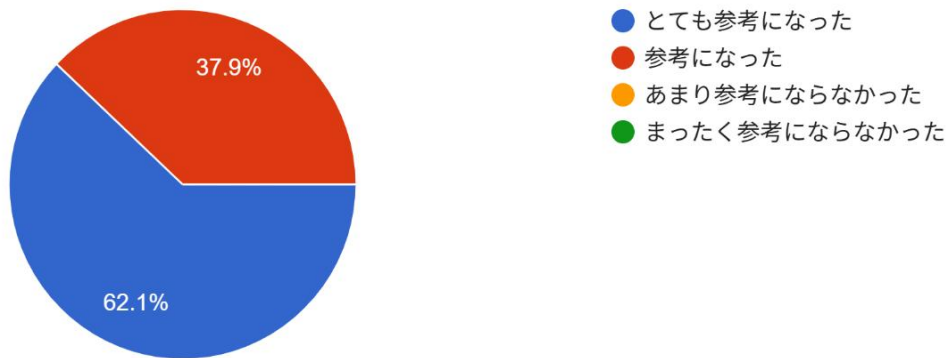
|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 14 |
| ②参考になった        | 14 |
| ③あまり参考にならなかった  | 1  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

ミニレクチャー②「事例紹介 うまくいった事例、うまくいかなかった事例」 の感想(自由記載)

- ・ 薬剤師さんの役割が明確になりました。
- ・ 薬剤師さんの困り事や解決の仕方を学ぶことができました
- ・ イラストを使った事例で説明もわかりやすくよかったです。
- ・ 薬剤師なので同じように感じた
- ・ とくに高齢者の独居の方、認知機能が低下している方などはより慎重な対応が重要で、対策も必要だと感じた。
- ・ あるあると思いながら聞いていました。
- ・ うまくいかなかった事例では自分も遭遇する可能性のある事例もあったため考えさせられました。
- ・ 薬剤管理指導は大変な役割であるとわかった
- ・ 大変参考になりました

グループワーク 「訪問先でのお薬トラブル 」について

グループワーク 「訪問先でのお薬トラブル 」について  
29 件の回答



|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 18 |
| ②参考になった        | 11 |
| ③あまり参考にならなかった  | 0  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

「グループワーク」の感想(自由記載)

- ・ ロボット管理の方法もあることなど新しい情報がありました。とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 訪問看護師さんと同じグループでしたので、具体的な困りごとなどを伺うことができとても勉強になりました。
- ・ 他事業所の困り事や対策を聴くことができ、本当に勉強になりました。
- ・ みんなのあるあるを聞くことができ、在宅の現場での多職種との連携が大事なんだと感じました
- ・ それぞれの職種の中でトラブル、対応、対応方法で知らなかったことがあり、学ぶことができました。
- ・ 新たな症例を聞くことができました。
- ・ 服薬コンプライアンスは他の職種もよく意識しているようで薬局にも情報が入れば良いなと感じた
- ・ 診療所勤務のため訪問の経験がなかったので、グループ内で出たお話がとても参考になりました。来院の患者さんからの情報収集には限界がありますが、聞き取りで気になる方がいたら薬局、薬剤師、多職種に繋がりたいと思いました。
- ・ 他職種の方から直接トラブルの話を聞いて良かったです。時間が足りず、まとめるまで進めませんでした。
- ・ 薬の管理などの着眼点や皆さんのお話しがとても勉強になりました。

- ・薬剤師さんへたくさんの質問をする事ができました。お薬も大切だけど手帳は自己管理だから鵜呑みに出来ないことや今はマイナンバーが役に立っていることも分かりました。薬剤師との連携には心理的にハードルが高かったが、グループワークを通して身近に感じる事ができ、積極的に連携して良いものなんだと思えた。
- ・皆様と訪問先のお薬トラブルについて、情報共有できて良かった
- ・薬を転売している人がいることを知って驚きました。また、マイナンバーカードの活用によって情報共有しやすくなると思います！今後もっと活用されていくと嬉しいですね！
- ・薬剤師側としては、なぜ在宅訪問依頼に繋がりにくいのかヒントが得られました。より繋ぎやすいシステムを考えていきたいです

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・とても学びになりました。ありがとうございました。
- ・薬剤師さんを通しての定例会とても良かったです。他の職種の方との定例会があることを期待しております。定例会班の方、企画、準備大変お疲れ様でした。
- ・とても面白い企画だと思いました。とても参考になりました。
- ・薬剤師の発表あまりないので良かった
- ・ワーク面白かったです
- ・いつも、勉強になります。ありがとうございます。
- ・服薬管理とは、人をみることだと言うことを知ることが出来ました。深いですね。
- ・今まで訪問薬剤師さんの介入の選択肢がなかったのですが、訪問薬剤師さんの業務内容や介入までの流れを知ることができて、具体的な介入のイメージが湧きました。
- ・定例会の準備、ありがとうございました
- ・最後の動画とても良かったです。

西いぶり在宅ケア連絡会 定例会 報告書

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 89 回<br>テーマ           | 「知って得する！薬剤師との連携でできる事」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 目 的                     | 薬剤師の役割や外来、在宅の実際、訪問看護師との望ましい連携や薬剤師の活用法を学び、グループワークを通じて、薬剤師が訪問する中での事例での成功例や、うまくいかなかった事例の対応方法や気づきなどについて考える。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 開催日時                    | 令和8年1月19日(月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 会 場                     | 胆振地方男女平等参画センター『ミンクール』大研修室A・B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| タイムライン                  | <p>18：30～18：35 開会挨拶、講師紹介</p> <p>18：35～18：50 ミニレクチャー①<br/>『薬剤師って何してるの？～思ってたんと違う薬剤師の現場～』<br/>講師：センター薬局 本輪西店 佐藤一生 先生</p> <p>18：50～19：05 ミニレクチャー②『事例紹介』<br/>講師：なの花薬局 母恋店 細川謙太 先生</p> <p>19：05～19：35 グループワーク</p> <p>19：35～19：55 グループワーク発表、全体共有</p> <p>19：055～20：00 連絡事項 閉会</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 参加者の声<br>※アンケート<br>より抜粋 | <p>【講演の感想】</p> <p>ミニレクチャー①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問薬剤師さんの役割について改めて知る事が出来ました。薬剤を飲んでの副反応の可能性などを含めて観察が必要と学ぶ事が出来ました。</li> <li>・薬剤師さんの視点の広さに驚きました。フィジカルアセスメントもしながら関わるのはとても素晴らしい事ですね。</li> </ul> <p>ミニレクチャー②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に高齢者の独居の方、認知機能が低下している方などはより慎重な対応が重要で、対策も必要だと感じた。</li> <li>・薬剤師さんの困り事や解決の仕方を学ぶ事が出来ました。</li> <li>・うまくいかなかった事例では自分も遭遇する可能性のある事例もあった為考えさせられました。</li> </ul> <p>【グループワークの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの職種での中でのトラブル、対応、対応方法で知らなかった事があり、学ぶ事が出来ました。</li> <li>・診療所勤務の為、訪問の経験が無かったので、グループ内で出たお話がとても参考になりました。来院の患者さんからの情報収集には限界がありますが、聞き取りで気になる方がいたら薬局、薬剤師、多職種に繋がりたいと思いました。</li> </ul> |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>参加者の声<br/>※アンケート<br/>より抜粋</p> | <p>【全体を通じての感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても学びになりました。ありがとうございました。</li> <li>・薬剤師さんを通しての定例会とても良かったです。他の職種の方との定例会がある事を期待しております。定例会班の方、企画、準備、大変お疲れ様でした。</li> <li>・服薬管理とは、人を見ることだと言う事を知る事が出来ました。深いですね。</li> <li>・今までの訪問薬剤師さんの介入の選択肢がなかったのですが、訪問薬剤師さんの業務内容や介入までの流れを知る事ができて、具体的な介入のイメージがわかりました。</li> <li>・薬剤師の発表あまりないので良かった。</li> <li>・とても面白い企画だと思いました。とても参考になりました。</li> <li>・いつも勉強になります。ありがとうございました。</li> </ul> |
| <p>報告者からの<br/>まとめ</p>            | <p>センター薬局の佐藤薬剤師の話から、薬剤師が訪問チームに加わる理由として、社会背景、教育制度の変化、診療報酬の変化等説明を聞く事で理解できた。在宅に参入しやすい薬局、しにくい薬局があり、以前業務で問い合わせた薬局では対応できず、センター薬局に依頼した事があった。いまいちその時には理由の理解できていなかったが、今回学んだ薬剤師の確保、医療用麻薬の備蓄等対応できる薬局、そうでない薬局がある事が改めて理解できた。薬=薬剤師ではなく、薬剤師も多職種と同様、環境、生活、身体、薬剤をみて初めて支援できる、その方の背景をみる事が大切だと学びました。</p> <p>グループワークでも、なの花薬局 細川薬剤師の話から、多職種との情報共有や、生活状況を確認する事が大切だと感じました。</p> <p>参加者はケアマネが前任の幹事のための参加だった。どうにかケアマネの参加が増えないものかと感じました。</p>            |

記録者 今田 千恵

# 第90回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ 「80・50問題に向き合う姿勢」

日 時 : 3月16日(月) 18:30~20:00

会 場 : 胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」

室蘭市東町4丁目29番1号 大研修室AB

参加申込 : 参加申込不要 **当日参加OK!**

参加費 : 500円

## <内 容>

18:30~18:35 開会挨拶

18:35~18:45 事例紹介:訪問看護ステーション希 佐々木看護師

18:45~18:55 講義「包括の立場から8050問題を考える」

講師:伊達市地域包括支援センター ケアマネジャー 古屋さん

18:55~19:05 講義「障がい福祉の立場から精神保健について考える」

講師:登別市総合支援センターen 精神保健福祉士 北條さん

19:05~19:15 講義「社会活動の支援を考える」

講師:室蘭市社会福祉協議会 社会福祉士 山下さん

19:15~19:40 グループワーク

19:40~19:55 共有と質疑応答

19:55~20:00 連絡事項 閉会



## 今月のポイント!

レビュー班が担当する定例会です。今回は「8050問題」を取り上げました。事例をもとに 対象者の支援だけではなく、家族全体を支援する視点について考えます。

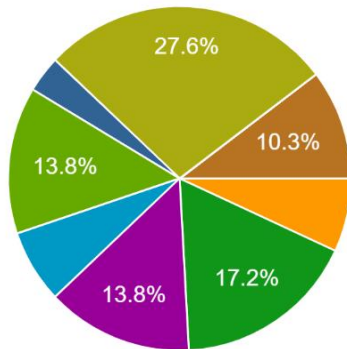
家族は「ひとつの社会」とも言われております。その中で暮らしている対象者やご家族の価値観や思いを理解することは在宅支援において大切です。“困っている”と相談してくれる人は支援しやすいですが、“あまり関わらないで・・・”という人に対して皆さんはどうされていますか?福祉、障害、生活困窮の専門家によるミニ講義で幅広い知識を深め、明日からの在宅ケアに役立ちます!今年度最後の定例会です。ぜひご参加ください。

### 【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会 (室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部

## 職種を教えてください。

29 件の回答



- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

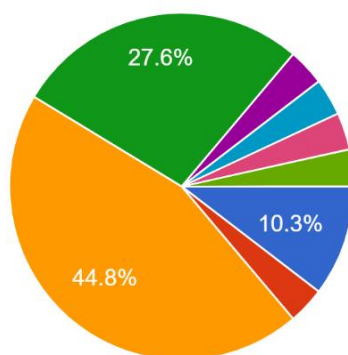
|          |    |
|----------|----|
| ⑬薬剤師     | 8  |
| ④看護師     | 5  |
| ⑤ケアマネジャー | 4  |
| その他      | 12 |
|          | 29 |

※アンケート回答者 29名

定例会参加者 51名

## 今回の研修会をどのように知りましたか？

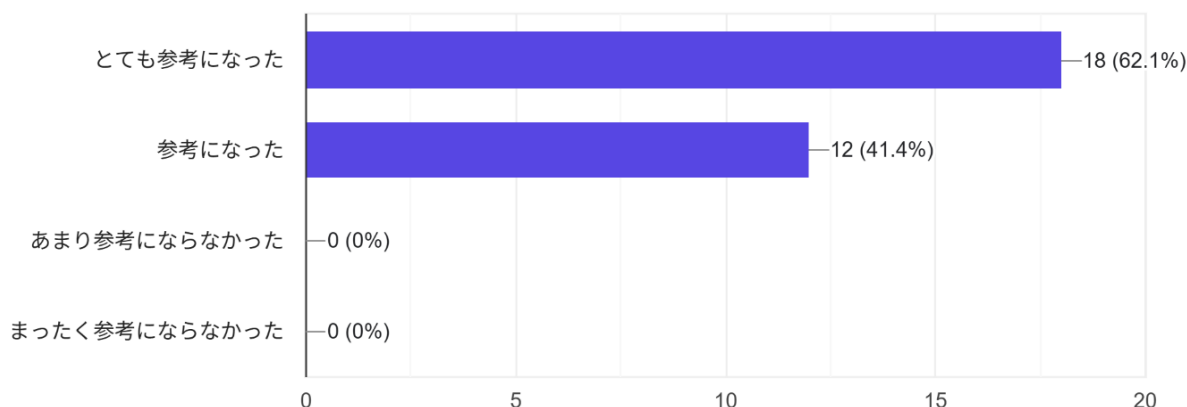
29 件の回答



- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤ネットで探してみました
- ⑥幹事
- ⑦主催者からのチラシ

|               |    |
|---------------|----|
| ①病院施設事業所のポスター | 3  |
| ②知人・友人        | 1  |
| ③職場           | 13 |
| ④職能団体からの連絡    | 8  |
| ⑤その他          | 4  |

ミニレクチャー①「薬剤師ってなにしてるの？～思ったんと違う薬剤師の現場～」について  
29 件の回答



|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 18 |
| ②参考になった        | 12 |
| ③あまり参考にならなかった  | 0  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

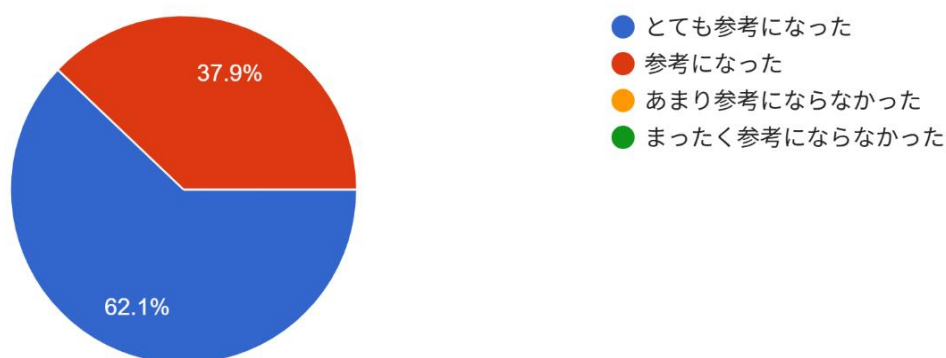
講演の感想(自由記載)

- ・利用者の家族の問題に気づいた時、どの時点で、誰に相談すればいいか、自治体ごとに窓口を明らかにしてもらえるとありがたいと思います
- ・8050問題って恥ずかしながら始めて聞きました。
- ・8050問題について理解を深められました。
- ・とても刺さった言葉などがあったので、もう少し深く長い時間で聞きたかった。
- ・介護と障害などの多職種連携のイメージ作りができました。
- ・8050問題については興味があったので参考になりました。中々、どこにどういう団体がいるのな、実態ってどうなのだろうと思っていたので話が聞けて良かったです。
- ・どうしても80歳代の要介護者の方に注目しがちですが、障害福祉についても勉強が必要だと感じました。
- ・8050問題について色々な立場の方から話が聞けて大変勉強になりました。
- ・なんとなくはわかっていた つなぎ続ける事が大切だという事を言葉で聞けてスッキリわかった気がします。80の支援終了後ゆるやかに引き継ぎが行われる事ができれば支援もし易くできそうと感じました。
- ・時間が短くもう少し詳しく聞けたらなと思いました。
- ・高齢者がわ、精神の方がわの視点から話が聞けてとても良かったです。、最初に事例紹介があり、イメージがついてからの講義だったので、想像しやすく、効率的な進め方だと思いました。
- ・8050問題の理解が深まった
- ・障がいや生活困窮の話聞く機会は少ないのでとても勉強になりました。

- ・障がいや生活困窮の話聞く機会は少ないのでとても勉強になりました。
- ・各訪問の立場からの話が聞けて良かったです
- ・資料をもとにわかりやすく講演していただきありがとうございました
- ・実際に8050問題のケースがあるので、今後の関わりで実践出来そうだと感じた。
- ・本人の支援だけではなく、家族の支援についても目を向けたり、多職種へつなぐ必要があるという事がわかりました。新しい視点が身につきました。
- ・もっと話し合いが必要と思いました。今回のケースは対応が難しいので、相談して解決したいです。

## 「グループワーク」について

29 件の回答



|                |    |
|----------------|----|
| ①とても参考になった     | 18 |
| ②参考になった        | 11 |
| ③あまり参考にならなかった  | 0  |
| ④まったく参考にならなかった | 0  |

## 「グループワーク」の感想(自由記載)

- ・他者の職種と話すことは、とても刺激になりますし、勉強にもなるので、とても良かったです
- ・皆さん色々意見ありましたが、同じような視点で共通認識できました
- ・他の職種の方から話を聞くことでとても勉強になりました。具体的な話を聞けて8050問題をより身近に感じられました。
- ・同職種で話したが、普段持つ視点や過去に感じた事など話し合える良い機会になったと思う。
- ・繋ぎのタイミングや伝え方などの深めることが出来ました。
- ・生活相談員の方からの症例など聞くことができました。人と人のアプローチの難しさやその人のかかえる問題って時間がとにかくかかること、お金の問題もあり、簡単ではないことがすごくよく分かりました。
- ・事例と近い経験をされたケアマネジャーさんの話なども聞くことができて良かったです。

- ・他職種の方と話せて良かったです。ただ職種が偏ってしまったので、職種でばらけさせても良いのではと感じました。
- ・ご家族への関わり方で必要な支援ができなくなる事はあると思います。各々の立場から見える事、他職種の立場で見える事を学べる機会があって良かったです。
- ・いろいろな立場（職種）からの考えを聞けて良かったです。わたしたち支援者も孤立しない（抱え込まない）ように周りに相談していくのが大事だなと改めて思いました。
- ・多職種と話すことで、アプローチの方法を考える事ができたと思います。例えば、息子さんにもっとアプローチできたら…と方向が一緒に、薬剤師さんは、薬をお届けの時に…とか、方法を想像することができた。
- ・家族の話聞く事も大事だがどこまでするか線引も必要
- ・多くの気づきがありました。4人のグループワークは話す機会も多くなるので、とても良かったです。
- ・私達の支援が時には家族（次男）の役割を奪うことにもなるんだと感じた。
- ・充実した話し合いができました
- ・他職種でそれぞれの意見があり、参考になることもありました
- ・それぞれの職種の立場で関われるとしたらの話で、関わり方には違いはあるが、そうなれば協力してもらえるかもという学びがあった。
- ・時間が短く、回答もまとまりませんでした。
- ・他職種ごとの考え方や職務内でできることの違いが知れて良かった

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・事例に対する意見を様々な職種の方から聞くことができ新たな気づきがありました。気づく→伝える一つなぐことを意識したいと思います。
- ・内容が幅広く、様々な誤解が生まれる可能性があると感じた。内容を絞り、講演時間を長くして理解を深める事も必要ではないかと考えた。
- ・障害サービスへの繋ぎ方や繋いだ後のネットワークの在り方についての具体例の話が聞けるよより実務に生かせると思います。
- ・他職種の方のお話が聞ける機会がありすごく勉強になりました。  
小さいことでもキャッチした内容を多職種で共有していく必要性と、解決ばかりを追い求めずに話をしていくということを学びました。活かせるようにしていきたいと思います。
- ・ケアマネさん、訪問介護看護、行政、事業者など、様々な視点の見方から話を聞くことができ、自身では気づけないことも知ることができた。すごく勉強になりました
- ・多職種連携の大切さについて 常にケアマネに情報提供して共有する必要がある事を知らない医療職の方が未だ多くいる様です。收拾がつかなくなってから相談される事もあるので、相談支援の中心にケアマネが居る事を周知し続ける必要があると感じました。
- ・8050問題のケースで介護と障がい分野で協働して行った好事例の報告がもしあれば、連携の仕方やタイミング、支援者それぞれの視点の違いなどを踏まえた上で、対応についてイメージしやすくなり、さらに深められるのではないかと思います。

- ・今野ケアマネの話にとっても共感しました。つながる姿勢はよくわかりましたが、実際どこまで、どの程度で介入依頼するかは課題ですね。
- ・テーマが幅広く、参加しやすい会でした。準備から実施までありがとうございました。
- ・他職種の意見が聞けて参考になった
- ・とっても楽しかったです
- ・良い組み立てで、大変学びになりました
- ・他職種の方が参加する在宅ケア連絡会定例会交流、共有できる場です。企画、準備大変お疲れ様でした。
- ・とても勉強になりました。

## 第90回 定例会「80・50問題に向き合う姿勢」報告書

【担当幹事】 古屋 英一郎

### 【今回の目的】

80・50問題を取り上げ、事例をもとに対象者の支援だけではなく、家族全体を支援する視点についで考えます。家族は一つの社会とも言われておりその中で暮らしている対象者やご家族の価値観や思いを理解することは在宅支援において大切です。「困っている」と相談してくれる人は支援しやすいですが、「あまり関わらないで」という人に対してどのようにアプローチするか、福祉、障害、生活困窮の専門職のミニ講義で幅広い知識を深め、明日からの在宅ケアに役立てることが目的。

### 【タイムライン】

令和8年3月16日（月）

18:30～18:35 開会あいさつ

18:35～18:45 事例紹介

講師 訪問看護ステーション希 佐々木看護師

18:45～19:15 講義「包括の立場から8050問題を考える

講師 伊達市地域包括支援センター ケアマネジャー 古屋

講義「障害福祉の立場から精神保健について考える」

講師 登別市総合支援センターen 精神保健福祉士 北條

講義「社会活動の支援を考える」

講師 室蘭市社会福祉協議会社会福祉士 山下

19:15～19:40 グループワーク

19:40～19:55 共有 質疑応答

20:00 閉会

### 【研修内容】

近年社会問題として注目されている8050問題をテーマに、事例検討を通して多職種による支援のあり方について学んだ。8050問題とは、80代の親と50代の子どもが同居し子供が社会的自立を果たせないまま高齢の親に依存した生活送る状態を指し、親の高齢化や健康状態の悪化により生活基盤が崩れることで、生活困窮や社会的孤立などの問題が混在するケースが多い。研修では訪問看護を利用する84歳の女性の事例をもとにそこに同居されている次男の支援について考えそれぞれの専門職の考え方について講義を受けた。グループワークでは、参加者それぞれの立場から事例について意見交換がおこなわれ、訪問看護や介護職の参加者からは支援対象が高齢者本人である場合同居する家族に問題にどこ

まで関与すべきか判断が難しいなどの意見が出された。

今回の定例会において、8050問題は単一の支援機関で解決できる問題ではなく、地域包括支援センター、医療機関、障害福祉サービス、生活困窮者支援機関などの多職種による連携が不可欠あることを改めて気づかされた。また、支援の中で小さな問題に気づき、早期に関係機関につなぐことの重要性を学ぶことができた。

**【参加者】**

51名